

大葉の先枯れ対策に「できーるくん」で効果あり！

たよりでは初めてになる大葉の事例を紹介します。大阪府寝屋川市の石飛昌康さんは、お父さんが自作水耕で大葉栽培を30年経営されていたところに、10年前に会社勤めから転向されたとの事。この寝屋川地区は、大葉栽培農家が4~5軒集結し、料理屋さんなど業務向け産地として定着しております。

例年冬場になると葉先が褐変する症状に悩まれており、それに加えて、農薬規制の影響と、10月の長雨によって樹勢が極端に落ちてきて、その対策について弊社に相談が持ちかけられました。

施設は湛液式の自作プラントですが、自動養液コントローラー、養液地下タンクも設備しておられ、施設の大きな問

題点もなく、天候・生育ステージなどにリンクした栽培管理側に問題点があるとの判断から、対策の第一弾として「できーるくん」の導入が決まり、12月初旬設置工事を完了したものです。写真は、設置当日のもの、は、設置1ヶ月後のものです。

と の比較では、通路部分が見えないくらいにボリューム感が出てきており、樹勢の回復は顕著で、根圏状況、バランスの取れた肥料吸収などに变化してきたと推測されます。 は設置当日のアップ写真ですが、葉の周囲が立ち上がっており、葉の伸びが窮屈そうである。一ヶ月の では、それもなくなり、平面で伸びやかに進展している。葉脈も

くっきりと目立ってきた。葉中心部に見られた白く色抜けした部分もなくなり、末端までの栄養補給が順調になってきていることが窺える。葉茎、節間、葉色など、いずれを見ても改善されてきている事は明らかである。

3ヶ月を経過した現在、もう一つの課題であった先枯れ現象は、皆無というわけにはいかないが、随分減少していると思うとのことで、肥培管理のさらなるチューニングが必要であろうと語っていただきました。プラントの種類を問わないで「できーるくん」は設置できることをセールストークにしていますが、今回の事例で、それが立証できたと言えるのではないのでしょうか。 (企画室 小倉東一)



できーるくん設置前



できーるくん設置後



石飛昌康さん



できーるくん設置前



できーるくん設置後